

兵庫県三田市と「友好都市提携」を 宣言して10周年を迎えました

企画財政課企画経営室 ☎ 25 1103



▲ 三田まつりでの権伝馬船乗船体験

みなさんは兵庫県三田市を「存じ」ですか。鳥羽市から直線距離で約150キロメートル離れている場所に位置します。

令和3年7月で友好都市締結を宣言してから10年が経ちました。約1700ある自治体の中からなぜ三田市と友好都市を結んだのでしょうか。それは江戸時代までさかのぼります。江戸時代から始まった三田市とのつながりは、令和になっても続いていきます。

今回の特集では、三田市との歴史的なつながりやこれまでの歩みを振り返り、三田市とのこれからについて考えます。

「友好都市締結」を宣言してから約10年。鳥羽市と三田市を結び付けたのは戦国時代に最強の水軍と呼ばれた「九鬼水軍」を率いる九鬼家でした。有名な戦国武将である織田信長や豊臣秀吉に仕え、大きな戦果をあげたと言いつた「九鬼家」について迫ります。

三田市とは平成11年から市民団体の交流が深まり、三田まつりにおける権伝馬船乗船体験や鳥羽の九鬼水軍太鼓の演奏による両市の市民文化交流のほか、野球やバスケットボールなどで両市のチームが交流試合を行うスポーツ交流、両市の小学校がそれぞれの市を訪ねての交流やオンラインでの交流など、さまざまな交流を通じて友好関係を深めてきました。



▲ オンライン交流

自分たちの町のことをクイズにして神島のことを知ってもらえてうれしかった。私たちは海のくらし、母子小学校の子たちは山のくらしをしていて、正反對のくらしの事を知れて良かった。母子小に1度行ってみたい。



天野 瑠愛さん (右)
小久保 桃愛さん (中)
山本 琉翔さん (左)
神島小学校6年生

一番楽しかったのは、英語の授業で3つのヒントだけで何かを当てる「スリーヒントクイズ」。最後の最後まで負けてしまったけど、オンラインでの交流なのに神島小学校の子たちがその場にいるような感覚になるくらい盛り上がり、楽しかった。



渡邊 真乙さん (右)
真造 一颯さん (左)
母子小学校6年生

互いの市の理解を深めるための交流が続いている母子小学校と神島小学校。昨年6月・10月のオンライン交流の感想を聞きました。

友好の精神を育む

歴史でつながる

海と山の九鬼氏物語

鳥羽市と三田市のつながりは水軍で知られる九鬼氏です。そもそも九鬼氏とは？なぜ九鬼氏が海のない三田に？そのような疑問について歴史を紐解いていきたいと思います。

戦乱の世の九鬼水軍

九鬼氏は南北朝時代から続く一族で、元々志摩の国（現在の鳥羽市と志摩市）の水軍でした。歴代の中でも特に有名なのが天下統一を目指す織田信長に仕えた「九鬼嘉隆」。海上戦術に長けた嘉隆は「水軍の将」と呼ばれ、石山本願寺との戦いでは鉄甲船を率いて当時最強と謳われた毛利水軍に大勝します。そして、信長亡き後は豊臣秀吉に仕え、文禄3（1594）年には鳥羽城を本拠としました。しかし、関ヶ原の戦いで嘉隆は西軍、子の守隆は東軍として親子が分かれて戦い、西軍が



鳥羽城跡



三田城跡

敗北します。家を継いだ守隆は九鬼水軍を率いて大坂冬・夏の陣で戦果を挙げますが、守隆亡き後に三男隆季と五男久隆で家督争いが起こります。さらに九鬼氏の水軍力を恐れた江戸幕府がこの騒動に介入し、久隆を山国の三田へ、隆季を綾部（現在の京都府内）へ国替えを命じました。

海の九鬼から山の九鬼へ

鳥羽から三田へ国替えとなった久隆は、寛永10（1633）年に三田藩主となり、その後九鬼氏は藩主として13代続き、江戸時代の三田を支えました。また、大きく時代が動いた幕末、進取の精神に富んだ九鬼氏は、三田の文明開化に大きな足跡を残し、三田の礎を築きました。新しい時代を先取りする気質や考え方は、日本の近代化学の祖と称される川本幸民を輩出するなど、三田だけでなく日本の発展に大きく寄与しました。

九鬼氏の歴史に触れる

「明治時代には九鬼氏はどんな活躍をしたの?」「どんな家に住んでいたの?」九鬼氏のことをもっと知りたい人のために、ゆかりのある施設や本などをご紹介します。



鳥羽市では「とぼっこ探偵団」という書籍を刊行し、九鬼氏をはじめとした郷土の偉人を学習する取り組みを行っています（市立図書館の郷土資料室でも閲覧いただけます）。



旧九鬼家住宅資料館

三田藩家老職を代々務めた九鬼家の住宅で、明治初期に建てられた全国でも数少ない「擬洋風建築」の建物。住宅の設計は当主であった九鬼隆範が行い、その図面も現存しています。

住所：兵庫県三田市屋敷町7-35
☎079-559-6899



鳥羽歴史文化ガイドセンター

施設内に事務所を構える「鳥羽ガイドボランティアの会」のメンバーに鳥羽城跡などさまざまな歴史文化を解説しながら案内してもらえます。また、2階の展示スペースには「九鬼嘉隆常設展」があり、九鬼氏ゆかりの品が数多く展示されています。

住所：鳥羽市鳥羽一丁目10-48 ☎☎8255

